# 授業科目　看護政策論

| 【担当教員名】 | 対象学年 | 4 | 対象学科 | 看護 |
|---|---|---|---|---|
| 西川　薫　他 | 開講時期 | 前期 | 必修選択 | 選択 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 |

【カリキュラムポリシーとの関連性】

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|---|---|---|---|---|
| ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ |

【概要・一般目標：GIO】

看護職に必要な戦略的アプローチとして、政策諸理論および政策形成について学習することにより、看護政策への関心を高め、看護職が政策過程に参画することの意義を理解する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．政策および政策形成プロセスの概要が説明できる。
2．看護に対する社会の認識の推移と歴史的背景についての概略を説明できる。
3．看護職の社会的身分や教育・実践現場に影響を及ぼす法令や政策の概要を説明できる。
4．米国医療・看護政策の経過と現状を理解し、我が国における看護政策のあり方について意見を言える。
5．看護政策への提言・参画過程の具体例を理解する。
6．看護職者が政策過程に参画するための方策を構想できる。

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | SBO番号 | 学習方法・学習課題<br>備考・担当教員 |
|---|---|---|---|
| 1 | 看護職のための政策過程論：政策および政策過程とは | | 講義 |
| 2 | 看護に対する社会認識の推移とわが国の看護政策 | | 講義 |
| 3 | 看護に影響を及ぼす法令・政策および課題（1）保健師助産師看護師法：看護の専門性と社会的責務、課題 | | プレゼンテーション・講義 |
| 4 | （2）看護師等人材確保法：看護教育の大学化と社会背景、課題 | | プレゼンテーション・講義 |
| 5 | （3）診療報酬：病院経営と看護体制、医療経済と看護、課題 | | プレゼンテーション・講義 |
| 6 | 米国の医療と看護政策：その光と影 | | 講義 |
| 7 | 看護政策への提言・策定過程への参画 | | 講義 |
| 8 | 看護政策への提言・策定過程への参画 | | 講義・ディスカッション |

| 【使用図書】 | ＜書名＞ | ＜著者名＞ | ＜発行所＞ | ＜発行年・価格 他＞ |
|---|---|---|---|---|
| 教科書<br>（必ず購入する書籍） | | | | |
| 参考書 | | | | |
| その他の資料 | | | | |

| 【評価方法】 | 【履修上の留意点】 |
|---|---|
| 授業の出席および参加態度（50%）レポート（50%） | テキストは担当よりお伝えします。 |